

指定管理者の管理運営に関する評価シート

1 施設

施設名	石ヶ谷公園・明石海浜公園・魚住北公園
施設所管課	都市局 都市整備室 緑化公園課
指定管理者	しんきパーク&スポーツマネジメント共同事業体
指定期間	平成29年4月1日～令和5年3月31日
指定管理料 (年度毎)	平成29年度決算額 219,952千円 平成30年度決算額 224,124千円 令和元年度決算額 221,462千円 令和2年度決算額 218,962千円 令和3年度決算額 220,035千円
管理体制	本社部門 ・正社員 2名 石ヶ谷公園 ・正社員 9名 契約社員 3名 臨時職員 5名 明石海浜公園 ・正社員 3名 契約社員 2名 臨時職員 11名 魚住北公園 ・臨時職員 5名

2 指定管理者評価（自己評価）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートの5年間の推移では、3公園ともほぼすべての項目で満足度が高い評価を得ています。 ・ スポーツ教室やスポーツ開放、各種イベントについて、様々な利用者の声を反映した事業実施が出来た結果、利用者数・参加者数は増加傾向にあります。 ・ 公園利用者アンケートでも園内美観の向上や植栽管理面などほぼすべての項目で高い評価をいただいています。 ・ 石ヶ谷ハープガーデンズやひだまりの広場の造成と関連イベントの開催、各スポーツ施設でのスポーツ大会の開催、トレーニングルームのリニューアルによる利用者の増加など、多くの参加者から好評を得る事ができました。 ・ 利用者に対する安全配慮や施設の安全性の確保などの面についても、施設改修や機器導入などのハード面だけでなく、利用者への注意喚起やスタッフの研修による意識向上などソフト面の充実も図りました。 ・ 明石海浜プールでは、監視体制の充実などの安全管理面や、市内全域を対象とした広報活動に取り組み、多くの来場者がありましたが、コロナ対策として令和2年度からは大幅な運用変更（人数制限、予約制）があったものの、柔軟かつ安全に運営し利用者から高い満足度を得ています。 ・ 3公園の一体運営により、利用者への利便性・参加機会の提供と満足度の向上を得る事が出来たものとの自己評価します。

3 所管課評価（第一次評価）

- ・ 利用者アンケートについては、総合的な満足度等概ね良好な結果が得られている。
 - ・ 事業達成度においては、明石海浜プールにおいて令和元年度まで年間利用人数が約 50,000 人あった中、監視員を増員し適切に人員配置を行い、安全に運営を行うとともに、令和 2 年度からの急な運営変更にも柔軟に対応したことは、特に評価できる。
 - ・ 工事による休館期間を利用し、明石中央体育会館のトレーニングルームをリニューアルし、大幅な利用者増に繋がったことは、おおいに評価できる。
 - ・ 利用者のニーズに答え、さまざまな事業の実施において、市民サービスの向上や、子育て環境の充実に大きく寄与したものとして評価できる。
 - ・ 危機管理においても、緊急時にも利用者の安全を考慮し、迅速かつ柔軟に対応したことは特に評価する。
 - ・ 職員研修については、積極的なスタッフの資格取得や避難訓練の実施を行っている。
 - ・ その他事業計画についても問題なく実施されている。
- 以上のことから適正な管理運営がなされていると判断する。

4 指定管理者選定委員会による外部評価（第二次評価）

顧客満足度では、利用者アンケート結果から「満足」と回答した人が約 50%~90%あり、「不満」と回答した人が 0%~7%であった。「満足」との回答をさらに高める余地はあるものの、「不満」の数値が低いことから、利用者の満足度は概ね達成できていると思われる。利用者からの要望・苦情等への対応については、スタッフですぐに対応できる清掃や軽微な修繕は直ちに実施しており、意見への回答はすべて各施設に掲示するなど、市民サービス向上への取り組みは評価できる。今後「満足」と感じる利用者をさらに増やし、「不満」と感じる利用者をさらに減少できるよう、市所管課と連携した、より利用者視点に立ったきめ細やかな対応に努められたい。

事業達成度では、事業参加人数は、コロナの影響により一時的に減少しているものの増加傾向にあり、幼児から高齢者までが楽しめる様々な事業の実施について工夫が見られる。また、各施設の利用者数も増加傾向にある。明石海浜プールでは、運営方法に大幅な変更があるなか、柔軟に対応し、安全に運営していることは特に評価できる。

収支状況については、人件費や事務費など内部的に抑制できる部分については減少傾向にある一方、管理費や事業費など安全な管理運営や利用者の満足度向上に関わる部分は増加傾向にある。しかしながら、これら支出の増加を安易に指定管理料の増に求めることなく、全体でバランスを図りながら、各施設を安全に管理運営しているものと判断される。全体として、5 か年ともに黒字を計上し安定した運営が行われており、概ね適正に執行されていると認められる。